

**製品名: エフリン A1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10533**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	24kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EFNA1 EFNA1; EPLG1; LERK1; TNFAIP4; Ephrin-A1; EPH-related receptor tyrosine kinase ligand 1;
別名	LERK-1; Immediate early response protein B61; Tumor necrosis factor alpha-induced protein 4; TNF alpha-induced protein 4
遺伝子 ID	1942.0
SwissProt ID	P20827
免疫原	抗血清はヒト EFNA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 66-115

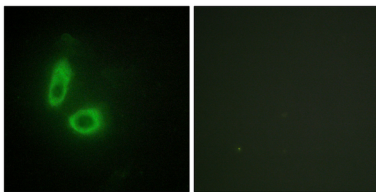
**背景**

この遺伝子は、エフリン (EPH) ファミリーのメンバーをコードします。エフリンおよび EPH 関連受容体は、受容体タンパク質チロシンキナーゼの最大のサブファミリーを構成し、特に神経系および赤血球生成における発達過程の媒介に関与していることが示唆されています。構造と配列関係に基づき、エフリンは、グリコシルホスファチジルイノシトール結合によって膜に固定されるエフリン A (EFNA) クラスと、膜貫通タンパク質であるエフリン B (EFNB) クラスに分類されます。この遺伝子は、EPHA2、EPHA4、EPHA5、EPHA6、および EPHA7 受容体に結合する EFNA クラスのエフリンをコードします。配列解析により、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが同定されました。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、誘導: TNF- $\alpha$  および インターロイキン-1 $\beta$  による。、類似性: エフリンファミリーに属する。、サブユニット: 受容体チロシンキナーゼ EPHA2、EPHA4、EPHA5、EPHA6、および EPHA7 に結合する。また、EPHA1 にも低親和性で結合する。、

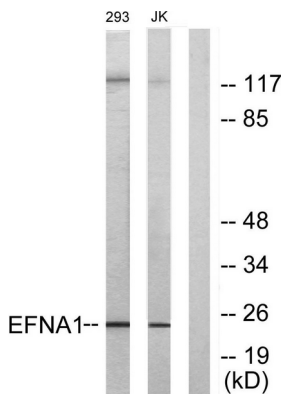
## 研究分野

軸索ガイダンス;

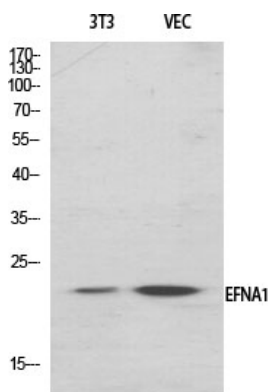
## 画像データ



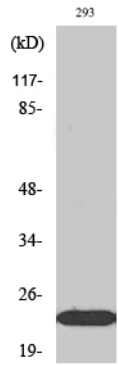
EFNA1 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



EFNA1 抗体を用いた 293 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈のエフリン A1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 2000 希釈の Ephrin-A1 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析